

科目名	情報処理Ⅱ	英語科目名	Information Processing Ⅱ
開講年度・学期	平成 24 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 3 年
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位(30 時間単位)
担当教員	前期:堀昭夫 後期:大島隆一	居室(もしくは所属)	建築学科棟 3 階 建築学科棟 2 階
電話	0285-20- (堀) 0285-20-2844(大島)	E-mail	o-shima@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標		授業達成目標との対応	
		小山高専の 教育方針	学習・教育 目標(JABEE)
			JABEE 基 準要件
① 初歩的なプログラミングができる。		⑤	
② 何らかの工学的な数値計算ができる。		④	
③ 2次元の建築図面を CAD で作成できる。		⑤	
④ 作品や研究レポート発表等に向けた作業としてコンピュータで処理ができる。		⑥	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
【前期】達成目標①②については、提出課題の難易度および完成度で評価する。			
【後期】達成目標③④については、提出ノートや演習作業の CAD 図面等を、完成度と正確度による設定水準で評価する。			
評価方法			
【前期】達成目標①②: 提出課題(60%), 課題の取組状況(20%), 授業の理解度(20%), により評価する。			
【後期】達成目標③④: CAD 演習図面等の提出、演習前後の講義ノート提出で加重平均により評価する。			
・前後期の成績を平均して学年末の成績とする。			
・未提出の課題やレポートがある場合は、原則として成績を不可とする場合がある。			
授業内容			
【前期】 01(1 週) Scilab に触れてみる(情報センター、以下も同じ) 02(1 週) 数学関数、[前期の終わりに提出する課題の問題を通知] 03-04(2 週) 行列の計算 05-06(2 週) 図化 07(1 週) 条件文 08(1 週) 繰返し文 09(1 週) 非線形方程式を解く→課題の中間提出 1 10(1 週) 連立方程式を解く 11(1 週) 固有値問題を解く 12(1 週) 補間計算をする→課題の中間提出 2 13(1 週) 数値積分をする 14(1 週) 微分方程式を解く 15(1 週) 課題を提出する→課題提出			
【後期】 01(1 週) 全体ガイダンス&PC・データの活用について(教室) →ノート提出 02(1 週) CAD の基本 1(教室) 03(1 週) CAD の基本 2(情報センター) →ノート提出 04(1 週) CAD 平面図演習(情報センター) 05(1 週) CAD 平面図演習(情報センター) 06(1 週) CAD 平面敷地図演習(情報センター) →CAD 図提出 07(1 週) CAD 断面図演習(情報センター) 09(1 週) CAD 断面図演習(情報センター) →CAD 図提出 10(1 週) CAD 立面図演習(情報センター) →CAD 図提出 11(1 週) CAD 総合演習(情報センター) 12(1 週) プレゼンテーション画像処理テクニック(教室) →ノート提出 13(1 週) プレゼンテーションテクニック(情報センター) →プレゼン CAD 図提出 14(1 週) CAD 図面利用テクニック(教室) →ノート提出 15(1 週) CAD 図面利用テクニック(情報センター) →プレゼン CAD 図の PPT 提出			
キーワード	Scilab、数値計算、データ処理、CAD		
教科書	なし		
参考書	前期:(教科書に準じる): Scilab 入門講座、赤間世紀、電波新聞社 (自習で困ったら): MATLAB+Scilab プログラミング事典、上坂吉則、ソフトバンククリエイティブ 後期:実務最優先 Jw_cad for Windows 徹底活用術、日本建築情報センター、エクснаレッジ		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	情報処理Ⅰ		
現学年の関連科目	建築設計ⅡB		
次年度以降の関連科目	応用数学、建築設計ⅡA,ⅡB、卒業研究		
連絡事項			
1. リポート作成や卒業研究・設計等でのコンピュータの利用頻度が高いので、目的意識をしっかりとって授業にあたること。 2. 建築 CAD は基本事項と応用を短期間で学ぶことになるが、もっと身につける必要があると感じた学生は積極的に自己学習を進める。 3. コンピュータ利用が社会的にも必須であり、それを自分なりの活用ができるようになって欲しい。			
シラバス作成年月日	平成 24 年 3 月 日		

